GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

1.早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	産業競争力基盤強化商品
	対象	電気自動車等

2.具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	電気自動車等
対象行動	最終製品・サービスの購入・販売
概要	当社は、ファブレス生産方式により、日本の安全基準を満たすよう設計した商用EVを調達し、国内の物流事業者等に販売しています。現在、軽EVバン・トラック「FKV」「FKT」、1tクラスのEVバン「F1V」シリーズ及び平ボディトラック「F1T」シリーズ、最大積載量1,100kgの電動商用バン「F11VS」、車両総重量6.0トンクラスの中型EVトラック「F3T」を展開し、ラストワンマイル配送から中型輸送まで、用途に応じた商用車のEV化の選択肢を提供しています。 ラインアップには、環境省の「商用車等の電動化促進事業」や経済産業省の「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」等の国の補助金の対象車両が含まれており、世界的な価格競争力のあるバッテリーの採用とファブレス生産による間接費の削減とあわせて、導入コストを抑えたEVを提供することで、「EVの選択肢が少なく、導入するとコストが上がる」という物流業界の課題の解消に取り組みます。 今後も、ラインアップの拡充を進め、"働く車"のEV化を推進します。 あわせて、使用済みEVバッテリーを定置用蓄電池として活用するサプライチェーンの構築に取り組むとともに、将来的には協力企業と連携したEVのバッテリー交換式設備の実用化も目指すなど、EVの普及を支えるインフラサービスの提供にも取り組みます。

3.サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

4.温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	電気自動車等
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	電気自動車等
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	自社単体

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2026年10月19日

フォロフライ株式会社

代表取締役　小間　裕康